

整備事業（産地競争力の強化）（長野県 平成17年度実施事業）

（長野県 平成17年度）

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分① (対象作物・畜種等名)①	政策目標①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①														成果目標の具体的な実績①	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
							計画時 (平成16年)	1年後 (平成17年)	2年後 (平成18年)	3年後 (平成19年)	4年後 (平成20年)	5年後 (平成21年)	6年後 (平成22年)	7年後 (平成23年)	8年後 (平成24年)	9年後 (平成25年)	目標値 (平成25年)	達成率	交付金	都道府県費				市町村費	その他						
																										67% (平成15年度)	65% (平成17年度)				
三郷村	三郷小倉りんご改植組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	果樹(りんご)	需要に応じた生産量の確保	【果樹】事業実施地区において、りんごの全出荷量のうち内部品質に応じた出荷割合の増加	67% (平成15年度)	65% (平成17年度)	67% (平成18年度)	65% (平成19年度)	66% (平成20年度)	54% (平成21年度)	81% (平成22年度)	69% (平成23年度)	89% (平成24年度)	75.6% (平成25年度)	74% (平成25年度)	122.8%	内部品質に応じた出荷割合が増加した。	土壌・土層改良 4.11ha 伐採・抜根 2.92ha 防風設備 1.9ha 苗木 3,595本	17,427,045	8,713,000	0	0	8,714,045	H18.3.31	平成25年の凍霜害とひょう害により、24年度ほどの高品質とはならなかったが、目標を達成することができた。	改植及び防風設備の整備により品質が向上し、目標とした上位等級品の出荷割合を達成することができた。			
松本市	今井・笹賀りんご改植組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	果樹(りんご)	品質向上	【果樹】高品質品種の栽培面積の拡大	55.0ha (平成16年度)	57.3ha (平成17年度)	59.2ha (平成18年度)	61.4ha (平成19年度)	62.8ha (平成20年度)	65.9ha (平成21年度)	68.7ha (平成22年度)	68.7ha (平成23年度)	69.6ha (平成24年度)	77.7ha (平成25年度)	60.5ha (平成24年度)	412.7%	着色優良系への改植8.1ha	土壌・土層改良 2.29ha 伐採・抜根 2.15ha 防風設備 0.26ha 苗木 1,934本	7,238,682	3,619,000		723,000	2,896,682	18.3.24	高品質品種への転換により、生産性、品質の向上が図られた。	高品質品種の栽培面積が拡大し、目標を達成することができた。			
伊那市	上伊那北郡りんご生産組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	果樹(りんご)	生産性向上	【果樹】りんごの労働時間を17%以上削減	10a当たり労働時間 263時間 (平成16年度)	217	217	218	218	218	218	218	218	218	10a当たり労働時間 217時間 (平成25年度)	97.8%	りんごの労働時間を45時間削減	りんご改植 1.44ha 防風設備 53a 土壌深耕 2.821m 土壌改良剤 359袋 堆肥 31袋 苗木 1,173本	5,726,161	2,863,000			2,863,161	18.3.15	低樹高化したことにより、労働時間の短縮が図られた。	低樹高化し、労働時間が削減できたことにより、規模拡大や他作物との複合経営が可能になり所得向上が見込まれる。			
大町市	大北りんご改植組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	果樹(りんご)	生産性向上	【果樹】りんごの労働時間を20%以上削減	10a当たり労働時間 267時間 (平成16年度)	幼若期間	幼若期間	幼若期間	幼若期間	10a当たり労働時間 259時間 (平成21年度)	10a当たり労働時間 252時間 (平成22年度)	10a当たり労働時間 242時間 (平成23年度)	10a当たり労働時間 228時間 (平成23年度)	10a当たり労働時間 210時間 (平成25年度)	10a当たり労働時間 214時間 (平成26年度)	107.5%	労働時間を57時間(21.3%)削減出来た。	りんご改植 1.9ha 小規模土地基盤整備(土改剤、伐採) 防風設備 1.81ha 苗木 1,409本	11,374,255	5,687,000			5,687,255	H18.3.24	作業効率の改善は目標を上回る成果があった。今後は品質をより高めて産地競争力を高めることが求められる。	労働時間を県農業経営指標と比較するとやや多いが、新たな技術導入である点を考慮すると妥当と判断する。技術の習熟につれ労働時間削減と品質向上を期待したい。			